



藤沢市における 「プラスチックごみ削減」 について



藤沢市 環境部
環境総務課 須田



2021年2月暴風雨後の片瀬東浜



海のごみは陸域から8割（川から7割）





ふじきゅん♡

令和4年度分析



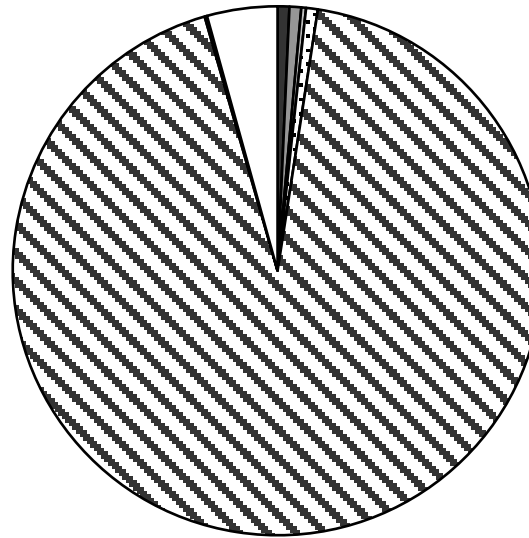


令和4年度分析

【結果表】		
【境川除塵機】		
項目	重量	比率
ペットボトル	0.50kg	0.72%
プラスチック製品	0.50kg	0.72%
空き缶・ビン	0.20kg	0.29%
発泡スチロール	0.50kg	0.72%
草・木・枝	65.00kg	93.12%
紙製容器	0.10kg	0.14%
新聞・雑誌	0.00kg	0.00%
その他	3.00kg	4.30%
合計	69.80kg	100%

※ その他の内訳 動物死骸等

境川除塵機回収ごみ内訳



- ペットボトル
- プラスチック製品
- 空き缶・ビン
- 発泡スチロール
- 草・木・枝
- 紙製容器
- その他

令和3年度分析



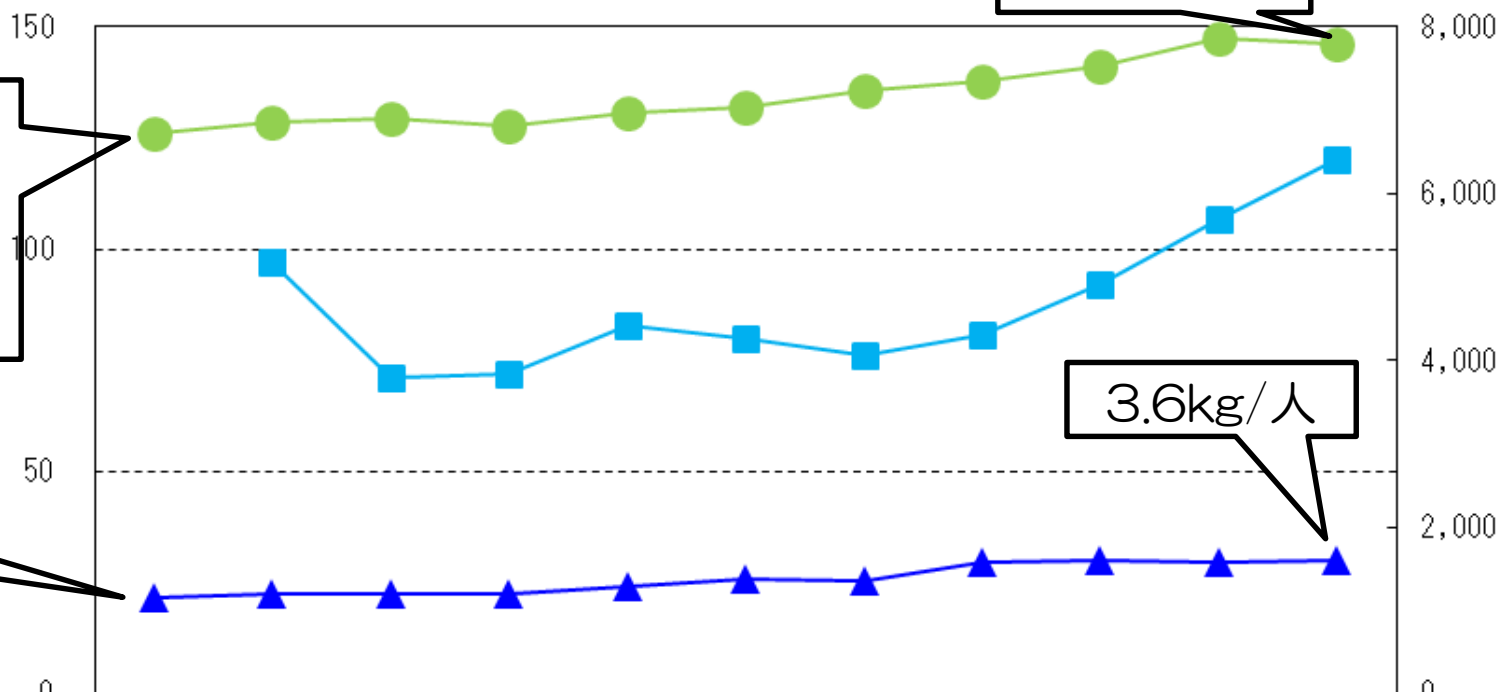
藤沢市プラスチックごみ排出状況

R3人口
440,487人
17.7kg/人



(t/年)

(t/年)



H23人口
413,826人
16.3kg/人

2.8kg/人

3.6kg/人

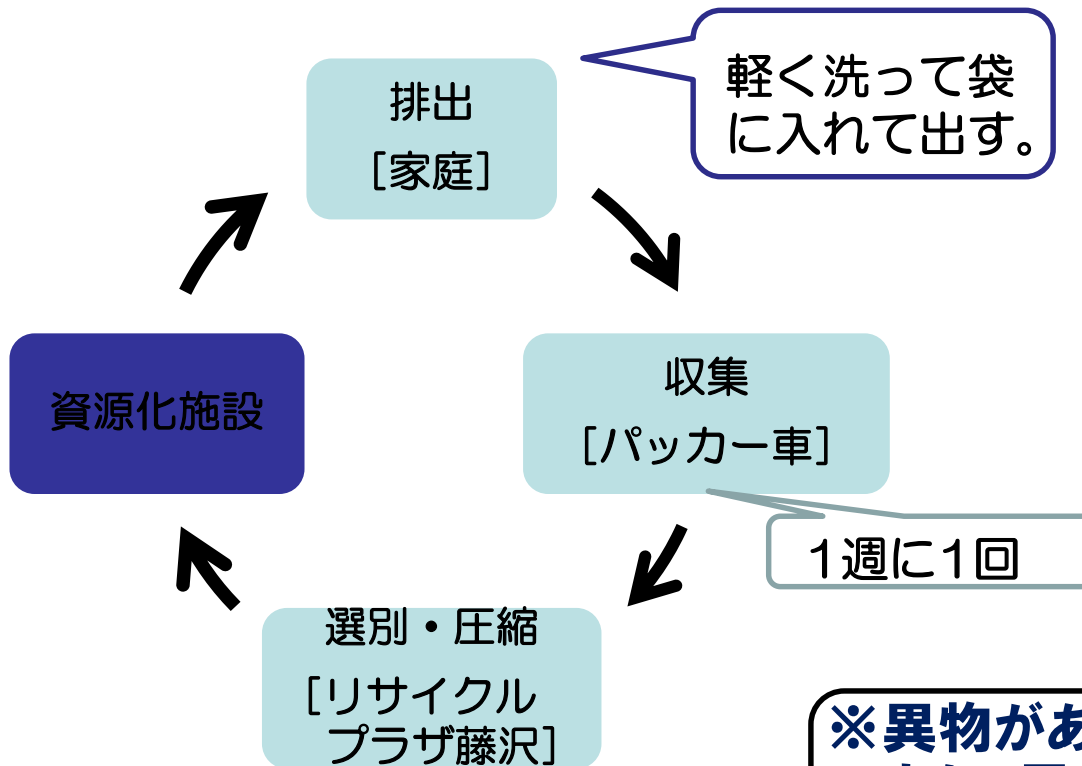
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
総プラスチック (t/年)	7,891	8,163	8,168	8,094	8,333	8,490	8,674	9,005	9,218	9,566	9,513
商品プラスチック (t/年)		97	71	72	83	80	76	81	92	107	120
PETボトル (t/年)	1,159	1,209	1,195	1,209	1,288	1,373	1,363	1,579	1,598	1,583	1,596
プラスチック製容器包装 (t/年)	6,732	6,857	6,902	6,813	6,962	7,037	7,235	7,345	7,528	7,876	7,797



リサイクルプラザ藤沢での 容器包装プラスチックの処理①



一般家庭から排出される容器包装プラスチックを次のように資源化しています。



プラスチック製容器包装
とは

商品を包んでいるものや商品
を保護しているもので商品
と分離した場合に不要に
なるプラスチック製のもの
(ビニール、ラップなどを
含む)です。

※異物があると資源化できなくなります。
また、異物が多いと受取拒否となる場
合もあります。

リサイクルプラザ藤沢での 容器包装プラスチックの処理②



袋をやぶく機械です



●プラスチック製容器包装

プラスチック製
容器包装受入ヤード

プラットホーム

プラスチック製
容器包装受入ホッパ

プラスチック製容器包装破袋機

手選別コンベヤ

異物

破碎処理施設へ

プラスチック製容器包装圧縮梱包機



プラスチック製
容器包装圧縮梱包品

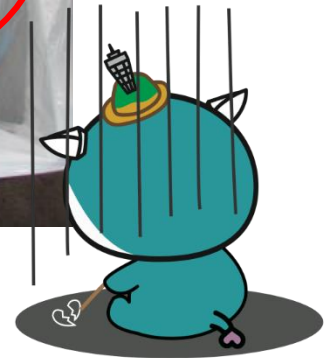
製鉄所の燃料
プラスチック製品

リサイクルプラザ藤沢での 容器包装プラスチックの処理③

写真（手選別しているところ）プラスチック製容器包装



異物として除去した
うちわ（不燃）や
お菓子の箱（本・雑紙）等



リサイクルプラザ藤沢での 容器包装プラスチックの処理④



写真（圧縮梱包されたところ）プラスチック製容器包装



日本容器包装リサイクル協会に引き渡して、リサイクル
されます！



プラスチック類の資源化費用

一般家庭から排出されるプラスチック類の資源化費用 (令和元年度実績)

品目	1 tあたりの資源化費用	排出量	藤沢市資源化費用
ペットボトル	収集・選別・圧縮・負担金	約1,600 (t/年)	約4千2百万円
	約26,000 (円/t)		
プラスチック製容器包装	収集・選別・圧縮・負担金	約7,500 (t/年)	約4億3千万円
	約57,000 (円/t)		
商品プラスチック	収集・選別・圧縮・負担金	約90 (t/年)	約370万円
	約40,000 (円/t)		
		約9,190 (t/年)	約4億7,570万円

※リサイクルにかかる費用の一部はメーカー等が負担していますが、収集等の費用については自治体が負担しています。



藤沢市の取組 多量排出事業者への立入①



多量排出事業者とは

1月平均3トン以上又は年間36トン以上の事業系一般廃棄物を排出する者

- 事業系一般廃棄物減量化等計画書などの提出
- 廃棄物管理責任者の選任



多量排出事業者：86者/年(令和3年度実績)

立入調査：20者程度/年

藤沢市の取組 多量排出事業者への立入②



【分別が悪い例】



一般廃棄物
(紙類)

産業廃棄物が
混入

【分別が良い例】



・内容がわかるように**写真や絵**で表示

・ごみ箱を**分類別**に用意している(可燃、プラ、PETなど)



一般廃棄物
(紙類)

産業廃棄物が
混入



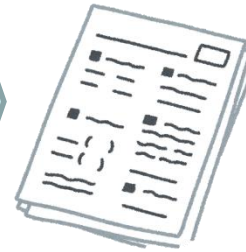
藤沢市の取組 多量排出事業者への立入③



義務

- **事業系一般廃棄物の減量化、資源化及び適正処理を図る**
- **事業系一般廃棄物減量化等計画書を提出する**
- **廃棄物管理責任者を選任する**
- **市の調査、指導に応じる**
(藤沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例第15条)

違反した場合は？



勧告に従わない時は？

改善その他必要な措置を講ずるよう**勧告**



廃棄物の受入を拒否できる

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について



プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律

プラスチックのライフサイクル全般での“3R+Renewable”により、サーキュラーエコノミーへの移行を加速

①設計・製造段階



リデュース 解体しやすい 素材代替

プラ製品の設計を環境配慮型に転換

プラ製品の環境配慮設計に関する指針に即した環境配慮製品を国が初めて認定し、消費者が選択できる社会へ

- 製造事業者等向けのプラスチック使用製品設計指針（環境配慮設計指針）を策定するとともに、指針に適合したプラスチック使用製品の設計を認定します。
- 国等が認定製品を率先して調達することやリサイクル設備を支援することで、認定製品の利用を促します。

②販売・提供段階



使い捨てプラをリデュース

小売・サービス事業者などによる使い捨てプラの使用を合理化し、消費者のライフスタイル変革を加速

- コンビニ等でのスプーン、フォークなどの、消費者に商品やサービスとともに無償で提供されるプラスチック製品を削減するため、提供事業者に対し、ポイント還元や代替素材への転換の使用の合理化を求める措置を講じます。
- これにより、消費者のライフスタイル変革を促します。

③排出・回収・リサイクル段階



排出されるプラをあまねく回収・リサイクル

あらゆるプラの効率的な回収・リサイクルを3つの仕組みで促進

- 市町村が行うプラスチック資源の分別収集・リサイクルについて、容器包装プラスチックリサイクルの仕組みを活用するなど効率化します。
- 使用済プラスチックについて、製造事業者等の計画を国が認定することで廃棄物処理法上の許可を不要とする特例を設けます。
- 産業廃棄物等のプラスチックについて、排出抑制や分別・リサイクルの徹底等の取組を排出事業者を求める措置を講じるとともに、排出事業者等の計画を国が認定することで廃棄物処理法上の許可を不要とする特例を設けます。





藤沢市の取組

市事業等におけるプラスチックごみ削減方針①

1 必要性の低いワンウェイプラスチックの削減

(1) マイボトル、マイバッグの推進

ア 給水スポットのホームページ掲載

イ 民間事業者と連携したウォーターサーバーの設置

ウ 自動販売機でのペットボトル販売削減

エ マイバッグの作成・配布等

(2) リユース食器、紙容器の推進

ア イベント等でのリユース食器の貸出・利用

イ イベント等での紙容器の利用

(3) 会議における個別ペットボトル提供の禁止



藤沢市の取組

市事業等におけるプラスチックごみ削減方針②

2 プラスチック製品を使用する場合の配慮

(1) バイオプラスチックや再生プラスチック製品の使用推進

ア 備品等購入時における環境配慮型製品の購入

イ イベント等での「食べられる食器」や「生分解性食器」の導入検討

ウ バイオプラスチック製ごみ袋の導入検討

(2) 繰り返し使用できるプラスチック製品の利用推進

イベント等でのリユース食器の貸出・利用





藤沢市の取組

市事業等におけるプラスチックごみ削減方針②

3 発生したプラスチックごみの適正排出、適正処理

- (1) 民間事業者と連携したペットボトル回収及び資源化の推進
- (2) 資源化が容易となるような排出時における分別の徹底
- (3) プラスチックごみ処理時における資源化可能な処理方法の検討

4 職員個々におけるプラスチックごみ削減への取組推進

- (1) 意識向上を図るためのeラーニング研修の実施
- (2) マイボトル、マイバッグの利用推進

プラスチックごみ削減に向けて 藤沢市・ローソン・ラファイエットで連携



本市、(株)ローソン、(有)ラファイエットでの間でプラスチックごみ削減及びシティプロモーションに関する協定を、2020年7月1日に締結しました。

【主な取組】

- (1) 本庁舎ローソンにおけるプラスチック製品の削減やペットボトルを削減します。
- (2) 本庁舎ローソン、ラファイエット藤沢店等で、FUJISAWACITYエコバッグの販売を始めます。
- (3) この取組を藤沢市内店舗に広げていきます。

エコバッグの販売





FUJISAWA BLUEHANDS PROJECT



FUJISAWA BLUEHANDS PROJECT



Lafayette



ふじさわしげんくみあい
Fujisawa City



ART MORIYA

Fujisawa
City
Love





マイボトル推進に向けた ウォータースタンド（株）との協定

本市とウォータースタンド（株）との間で「プラスチックごみ削減に関する協定」を2021年3月18日に締結しました。

市役所分庁舎等に水道直結式ウォーターサーバーを無償にて設置し、マイボトルを推進することにより、ペットボトルなどプラスチックごみの削減を図っていきます。

【ウォーターサーバー設置場所】

市役所分庁舎2階

本庁舎職員エリア（2階・4階・6階・8階）、秋葉台文化体育館、秩父宮記念体育館、一部の市民センターなど





水道直結式ウォーターサーバー

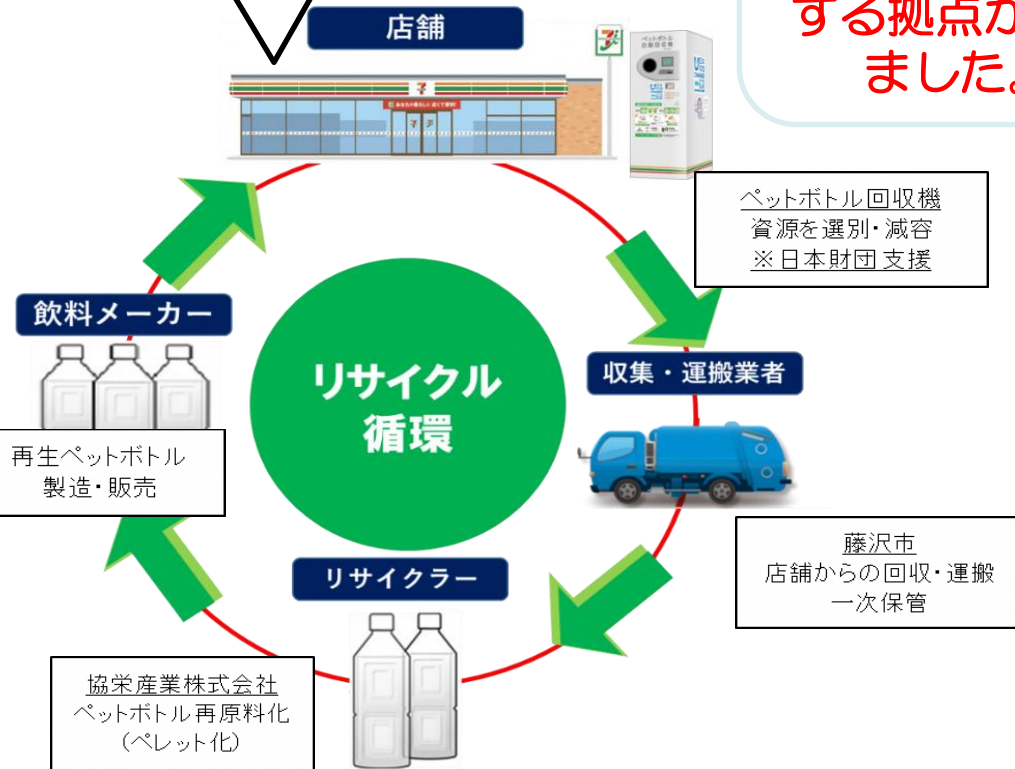


ペットボトル回収・リサイクルを促進に向け セブン-イレブン・ジャパンと協定



今年度は
市内のセブン-イレブン
31店舗で回収

戸別収集以外に
ペットボトルを
資源として回収
する拠点が
増えました。



【三者の役割】

藤沢市

- ・本事業の周知および正しい分別について、市民への浸透を図る。
- ・店舗からの資源回収と運搬、1次保管

日本財団

- ・セブン-イレブン店頭で設置するペットボトル回収機について、本体費用の半分以上を拠出。

セブン-イレブン 店舗

- ・回収機の運用および回収資源の管理

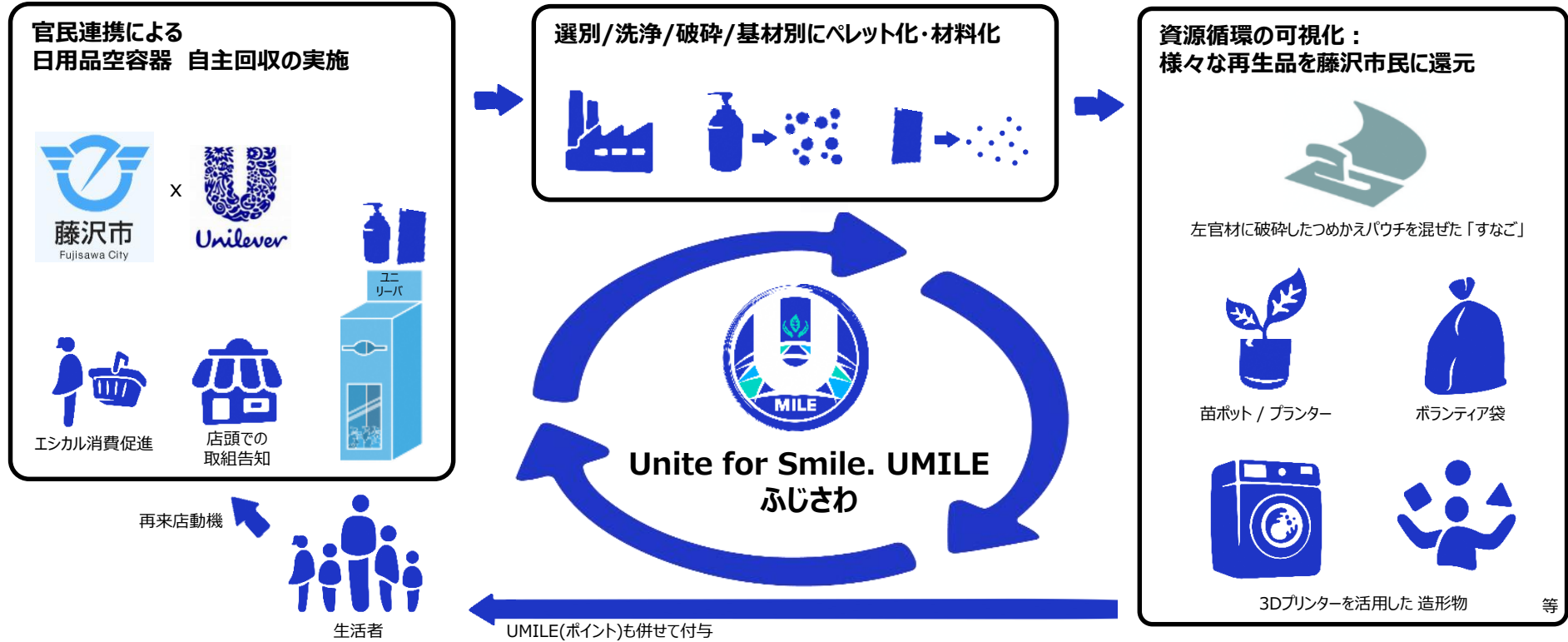
【ペットボトル回収機】

開発メーカー：株式会社寺岡精工
 機器サイズ：W650×D500×1330
 収容量：
 ペットボトル約280本
 ※500mlペットボトル換算



事業者の自主回収推進のため ユニリーバ・ジャパンとの協定①

藤沢市 x UMILE プラスチック資源循環及び環境美化の促進に関する協定 を締結



水平リサイクル品の販売
※将来的な目標として

藤沢市 ぐるまぢ

市民啓発イベント

プロギング ビーチクリーン 環境学習 藍染ワークショップ 等

地元企業との地域資源循環モデル構築 / 近隣市町との連携

藤沢市 ART MORIYA アートモリヤ

近隣市町との協働・共創

事業者の自主回収推進のため ユニリーバ・ジャパンとの協定②



UMILEプログラム 参加方法

詳しくは
こちら!



STEP 1 : 登録

ユニリーバ・ジャパンLINE公式
アカウントをお友達登録。



STEP 2 : UMILEを貯める

購入したユニリーバのつめかえ製品と
レシートを一緒に撮影しユニリーバLINEに送信。



or

回収ボックスの指定位置に空になった
ユニリーバのボトルやつめかえ製品を載せて
スマホで撮影し、ユニリーバLINEに送信。



or

サステナブルなソーシャルアクションをサポート

NEW

例) 海岸の美化活動 / ゴミ拾い
それら活動を拡散して下さった方への支援



or

D&I ソーシャルアクションをサポート

NEW

例) LGBTQIA+
ヤングケアラー
エッセンシャルワーカー等の支援



or

**セルフエスティーム(自己肯定感)を高める活動の
ソーシャルアクションをサポート**

NEW

例) ワークショップ支援等



STEP 3 : UMILEを使う

貯まったUMILEをプレゼントに交換!

エコグッズコース



回収物由来の
リサイクルグッズを拡充



寄付コース

1 UMILE = 20 JPY



D&I / Self-esteem
寄付先の拡充

LINEポイントコース

もれなく
一口 1UMILEで
LINEポイント
20ポイントと交換!





ご清聴ありがとうございました。



藤沢らしさを未来に引き継ぐ

ふじさわSDGs

適正分別・適正処理が3Rの推進や
地球温暖化防止へとつながります。

